

承認番号：RD6609-017

文書番号：19041877

2019年4月16日

ビニル系床材用接着剤  
スーパーウレタック試験成績書

株式会社タイルメント  
技術開発センター

## 1. 目的

ビニル系床材用接着剤「スーパーウレタック」(ウレタン樹脂系)の接着強さ評価を行った。

## 2. 試験項目

2-1.引張接着強さ試験

2-2.90度はく離接着強さ試験

## 3. 試験方法

3-1.引張接着強さ試験

3-1-1.供試試験材料

a.被着材料

複層ビニル床タイル (40×40mm に切断)

b.下地材料

モルタル板 (70×70×20mm : 幅×長さ×厚み)

c.接着剤

スーパーウレタック

3-1-2.試験体の作製

標準雰囲気内(23±2℃, 50±10%RH)にて、下地材に接着剤を所定のクシ目コテ (V ノッチ 巾×高さ×ピッチ 2.0×2.0×5.0mm) を用いて塗布し、1kg の荷重を 5 秒掛けて圧着し、引張接着強さの試験体とする。

3-1-3 養生条件

常態：標準状態(23±2℃, 50±10%RH)にて、48 時間

水中浸せき：標準状態 48 時間後、水中に 168 時間

### 3-2.90 度はく離接着強さ試験

#### 3-2-1. 供試試験材料

##### a. 被着材料

複層ビニル床シート (25×200mm に切断)

##### b. 下地材料

モルタル (70×150×10mm : 幅×長さ×厚み)

##### c. 接着剤

スーパーウレタック

#### 3-2-2. 試験体の作製

標準雰囲気内(23±2℃, 50±10%RH)にて、下地材に接着剤を所定のクシ目コテ (V ノッチ 巾×高さ×ピッチ 2.0×2.0×5.0mm) を用いて塗布し、5kg のローラーを掛けて圧着し、90 度はく離接着強さの試験体とする。

#### 4-2-3 養生条件

標準条件：恒湿室内(23±2℃, 50±10%RH)にて、7 日間

水中条件：標準養生後水中に 1,7 日間

## 4. 試験結果

### 4-1. 引張接着強さ試験

表-1 に引張接着強さ試験の結果を示す。

表-1. 引張接着強さ試験結果

	常態2日後		常態2日後+水中浸せき7日後	
	値	試験機	値	試験機
1	1.45	F40AB10A50	1.36	F20A80
2	0.89	F30AB10A60	1.74	F20A80
3	1.32	F30A70	1.64	F90A10
4	1.57	F30A70	1.66	F80A20
5	1.57	F20A80	1.50	F10A90
ave.	1.36		1.58	

※JIS A 5536 ウレタン樹脂系の引張接着強さ試験の基準値

常態：0.8N/mm<sup>2</sup> 以上

水中浸せき：0.5N/mm<sup>2</sup> 以上

#### 4-2.90 度はく離接着強さ試験

表-2 に 90 度はく離接着強さ試験の結果を示す

表-2. 90 度はく離接着強さ試験結果

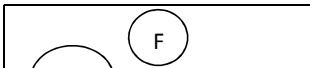
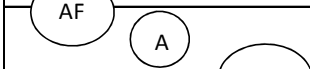

	常態2日後		常態2日後+水中浸せき7日後	
	1	52.7	F20A80	41.8
2	73.2	F20A80	63.4	A100
3	95.8	F100	57.5	A100
4	76.8	F20A80	63.3	A100
5	69.9	A100	61.6	A100
ave.	73.7		57.5	

※JIS A 5536 ウレタン樹脂系の 90 度はく離接着強さ試験の基準値

常態：20N/25mm 以上

水中浸せき：10N/25mm 以上

※破壊状態の説明

	F・・・被着材の材料破壊 AF・・・被着材と接着剤の界面破壊
	A・・・接着剤の凝集破壊
	GA・・・接着剤と被着材の界面破壊 G・・・下地材の材料破壊

#### 5. 考 察

ビニル系床材用接着剤「スーパーウレタック」は、JIS A 5536 の性能に合格しており、ビニル床材に対する性能は確保している。

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、じゅうぶん信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。